

平成 23 年度 日本と海外の学校生活を比べてみよう！

諸外国の学校制度や学校生活について知り、日本と比較することで、国際結婚や親の仕事の事情で来日した、外国にルーツをもつ子どもとその保護者の支援に役立てて頂くための研修を実施しました。

- 日時： 2011 年 11 月 20 日（日）14:00-17:00
- 会場： 京都府国際センター 会議室（京都駅ビル9階）
- 対象： 日本語が母語でない子どもとその保護者支援に関心のある方、現在関わりのある方。
- 参加費： 無料
- 参加者数： 41 名

■内容：

第1部「日本と海外の学校生活を比べてみよう」パネルディスカッション 14:00-15:30

府内で学ぶ子どもや保護者に関係のある国(中国、フィリピン、ブラジル、ドイツ)を中心に諸外国の 学校制度や学校生活を比較し、授業時間、科目、掃除当番、給食等各国の事情や日本との違いについてのお話を伺いました。

第2部「日本の学校生活で困っていること、その解決法」ワークショップ 15:40 -17:00

前半の話や参加者の体験などを踏まえ、課題や解決方法について

■パネリスト：

- 中国： 呉秋紅さん（府立鳥羽高校定時制常勤講師）
- フィリピン： ジョージ プリマベラさん（京都府国際センター生活相談員）
- ブラジル： 中村ジルベルトさん（京都府国際センター生活相談員）
- ドイツ： 山口久仁子さん（ピアーズ@関西）
- タイ： 中村千恵子さん（ピアーズ@関西）

■感想(アンケートより)：

- ・各国の学校教育の制度を知ることによって子どものできない理由をわかることができたように思う（忘れ物が多い(工作)、教科書をすべて常に鞆に入れている等）
- ・学校教育の違いはなかなか知るチャンスがないのでよかった。
- ・日本の教育と(進度、学校のレベル差があるかどうか)各々の国の違いについてもう少し聞きたかった。

- 主催：(財)京都府国際センター TEL:075-342-5000
渡日・帰国青少年(児童・生徒)のための京都連絡会(ときめき)

- 後援： 京都府教育委員会、京都市教育委員会

平成 22 年度 日本語を母語としない保護者への支援 ～外国につながる子どもを育てる～

日本語を母語としない保護者をテーマに、必要な支援や、その支援の為に、学校だけでなく 地域の組織や団体がつながり、有効に機能する方法について考えました。日本で子育て経験のある外国出身の保護者やそのような保護者と関わりのある方からお話を伺い、日本の学校システムや進路決定などについての意見交換を行いました。

■日時： 2010.11.21（日） 13:30-17:30

■会場： 京都府国際センター 会議室（京都駅ビル9階）

■対象： 日本語が母語でない保護者に関わりのある方、関心のある方

■参加費： 無料

■参加者数 : 36 名

■内容：

第1部 講演

- ・保護者から「日本での子育てについて」Eni Lestari さん（インドネシア出身）
- ・元当事者から「海外帰国当事者として」「中国帰国生徒の保護者に関わって」
遠藤ちさと さん（府立朱雀高校教員）

第2部 ワークショップ～外国につながる子どもから見える保護者の直面する課題～

前半の講演や参加者の体験などを踏まえ、課題や解決方法について話し合い

コーディネーター：浜田麻里さん（京都教育大学准教授）

第3部 「ときめき」とは？

渡日・帰国青少年（児童・生徒）のための京都連絡会（ときめき）ができるまでの経緯について

■感想（アンケートより）：

第一部：

- ・何が必要とされているか、どんな支援が行われているかがよくわかった。
- ・当事者の方からのお話だったので、わかりやすかった。
- ・当事者の体験を交えたお話が、自分には思いつかない点で問題が起きていることに気づかせてくれました。

第二部：

- ・すぐには、無理でも「解決」の方法まで、考えたのが良かった。
- ・経験がなかったのですが、経験のある方の意見を聞いたことがとても勉強になりました。
- ・若い人がボランティアで参加されていて頼もしかったです。具体的なことを話あえてよかったです。

第三部：

- ・今後の活動に、こういうところもあることがわかりよかったです。
- ・いろいろな活動を紹介して頂いてとても参考になりました。
- ・連携した様々な団体、グループがあることを知りました。
- ・大変勉強になりました。北部でもときめきのような活動ができたらと思います。
- ・以前、伏見青少年活動センターをよく利用させて頂いていました。そこに外国の方を支援されている「ときめき」があることは、今日初めて知りました。

■主催：（財）京都府国際センター TEL：075-342-5000

渡日・帰国青少年（児童・生徒）のための京都連絡会（ときめき）

■後援： 京都府教育委員会、京都府